

ウルトラ建設探訪記

vol.03

『ウルトラセブン』に見る高度成長期の建造物

『ウルトラセブン』第17話「地底GO! GO! GO!」



『ウルトラセブン』55周年記念サイト <https://seven55th.m-78.jp/>

©円谷プロ

あの時の未来

銅が支えた近代化と「大島桜」

坑口や鉱山施設のシーンが撮影されたと言われる「日立鉱山」（茨城県日立市）は、劇中では炭鉱という設定になっているが、実際には銅鉱石を産出した鉱山で、古くは江戸時代から採掘が行われていた。『ウルトラセブン』が放送された1960年代半ばには年産60万tを達成するなど日本を代表する銅鉱山だったが、貿易自由化で銅の価格が下落、良質な鉱石を掘り尽くしたことなどにより1981年に閉山となった。現在は、煙害対策として山に植林された大島桜の名所となっている。



提供：日鉱記念館

セブンの見た街、共生の未来

『ウルトラセブン』第17話「地底GO! GO! GO!」は、炭鉱で原因不明の落盤事故が発生、一人の青年が内部に取り残されてしまい、ウルトラ警備隊が地底を掘り進んで救出に向かう…というストーリー。地下1,000mの先にはロボットが歩き回る謎の基地があり、これが落盤事故の原因と判断したウルトラ警備隊は基地を爆破し、青年も無事救出された。地底基地を築いた高度な文明の正体は謎のままであったが、地下には人類にとって未知の世界が広がり、その住人たちの「共生」の可能性もあるということを示したエピソードとなっている。

ロケ地の現在の姿や作品に映る建造物を追いかける巡礼散歩へGO!!
55年前の「未来」、そしてその「現在」を動画で紹介します。



動画のナビゲーターは
モロボシ・ダン役の森次晃嗣さん。
二次元コードからぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/@user-qj6md4nz9e>